

記事を読んで、問いに答えましょう。

①鍵盤ハーモニカとは、どのような楽器ですか。

気軽に演奏できる鍵盤ハーモニカ。浜松の楽器販売会社が大人向けの普及活動を始める。2月上旬、浜松市南区の鈴木楽器販売



息を吹き込みながら指で音を鳴らす「鍵盤ハーモニカ」を使って健康増進やコミュニケーションの活性化を図ろうと、発祥の地の浜松市の楽器販売会社が大人向けの普及活動に乗り出す。音楽教室での個別指導に加え、高齢者施設や事業所に講師を派遣する出前教室などを計画する。

大人も鍵盤ハーモニカ

②浜松の販売会社が大人に向けて普及活動に乗り出した理由を書きましょう。

鍵盤ハーモニカは多くの人が小学校などで演奏経験がある。年齢を重ね、時間の余裕を得やすくなった世代を中心に再挑戦してもらい、演奏者の裾野を広げる狙いだ。第1弾のイベント

企画したのは、国産初とされる鍵盤ハーモニカ「メロディオン」を製造した鈴木楽器製作所（中区）の製品を取り扱う鈴木楽器販売（南区）とアオイ楽器店（中区）。

鈴木楽器販売の多田和修執行役員営業推進部長は「鍵盤ハーモニカは子供向けの教育楽器とのイメージが強いが、大人向けモデルも増えている。年齢を問わず、楽しく簡単に演奏できることを知ってほしい」と話す。

「音楽療法」効果に期待

浜松の販売会社が普及活動

として25日、同社で音楽と呼吸をテーマにした鍵盤ハーモニカのセミナーを開いた後、出前教室などの事業をスタートする。セミナーはオンラインでも公開予定。

下（えんげ）機能の向上、脳の活性化、ストレス解消などの効果が期待され、「音楽療法」として注目されて

③鍵盤ハーモニカを使って演奏した時の思い出を書きましょう。

いるという。アオイ楽器店の川上嘉将社長は「健康づくりとともに、職場の仲間同士で演奏すれば、横のつながりが強まるのでは」と波及効果に期待する。（浜松総局・杉山諭）

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 中村都（静岡市立井宮小学校 教諭）

（小学校高学年～中学校／音楽）

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年2月21日夕刊

①鍵盤ハーモニカとは、どのような楽器ですか。

- ・息を吹き込みながら指で音を鳴らす楽器
- ・パイプや唄口を使って自分の息を入れて音を鳴らす鍵盤楽器
- ・子ども向けの教育楽器のイメージが強いが、表現力が豊かで、大人や演奏家も用いる本格的な楽器など

気軽に演奏できる鍵盤ハーモニカ。浜松の楽器販売会社が大人向けの普及活動を始める。2月上旬、浜松市南区の鈴木楽器販売



息を吹き込みながら指で音を鳴らす「鍵盤ハーモニカ」を使って健康増進やコミュニケーションの活性化を図ろうと、発祥の地の浜松市の楽器販売会社が大人向けの普及活動に乗り出す。音楽教室での個別指導に加え、高齢者施設や事業所に講師を派遣する出前教室などを計画する。

大人も鍵盤ハーモニカ

②浜松の販売会社が大人に向けて普及活動に乗り出した理由を書きましょう。

- ・健康増進やコミュニケーションの活性化を図るため
- ・腹式呼吸を利用する楽器なので、呼吸器系機能や嚥下機能の向上、脳の活性化、ストレス解消などの効果が期待されるため
- ・健康づくりと共に職場の仲間の横の繋がりが強まることが期待できるため

狙いだ。第1弾のイベント

鍵盤ハーモニカは多くの人が小学校などで演奏経験がある。年齢を重ね、時間の余裕を得やすくなった世代を中心に再挑戦してもら

話す。鍵盤ハーモニカは多くの人が小学校などで演奏経験がある。年齢を重ね、時間の余裕を得やすくなった世代を中心に再挑戦してもら

企画したのは、国産初とされる鍵盤ハーモニカ「メロディオン」を製造した鈴木楽器製作所（中区）の製品を取り扱う鈴木楽器販売（南区）とアオイ楽器店（中区）。

「音楽療法」効果に期待

浜松の販売会社が普及活動

下（えんげ）機能の向上、脳の活性化、ストレス解消などの効果が期待され、「音楽療法」として注目されて

③鍵盤ハーモニカを使って演奏した時の思い出を書きましょう。

- ・唄口では鍵盤が見にくかったので、ずっとパイプを使って練習していた。
- ・慣れるまでは息の吹き込み方がうまくいかなかった。
- ・息の吹き込み方を工夫すると、曲想がつくことがわかった。 など

いるという。アオイ楽器店の川上嘉将社長は「健康づくりとともに、職場の仲間同士で演奏すれば、横のつながりが強まるのでは」と波及効果に期待する。（浜松総局・杉山諭）

年 組 名前